

図書館・郷土資料館だより

図書館 問・申 ☎(61)3002
 休館日 5/6・10・13・17・24・31
 郷土資料館 問・申 ☎(61)4700
 休館日 5/1・6・10・17・24・31

図書館情報

図書館公式ツイッター いそちゃんをご存じですか？

図書館ではいち早く情報を発信するため、公式ツイッターを運用しています。休館情報やおすすり本の紹介など、たくさんの方の魅力を発信していきます。ツイッターのアカウントを持っていない場合でも見ることが出来ますので、日々チェックしてみてください。

▼アカウント いそちゃん
 (大磯町立図書館)
https://twitter.com/oiso_library



勉強会、講習会に、 会議室を貸し出します

図書館本館には、会議室が3室あり、サークルの定期活動などに幅広く利用されています。ご利用には、大磯町公共施設使用登録が必要ですので、窓口で手続きを行ってください。利用日の2か月前(町外団体は1か月前)から予約を受け付けています。生涯学習施設ですので、営利目的等には利用できません。

	使用料(時間)	定員
大会議室	530円(町外1,050円)	30人
小会議室	320円(町外630円)	10人
和室	320円(町外630円)	7人

「読書通帳」を ご利用ください

読書通帳は自分が読んだ本の名前や感想などを書き込み、貯めていくものです。たくさんの方の知識や感動を貯めて、自分の宝物にしてください。

▼対象 幼児〜大人まで(大磯町立図書館の利用券を持っている人)
 ▼配布場所 図書館本館、分館窓口
 ▼利用方法 図書館や学校で借りた本、自分で買った本などを読み終わったら通帳に記入して、50冊貯まったら通帳を窓口を持ってきてください。認定のスタンプを押します。

学習室・昼食スペースを ご利用ください

図書館本館では、行事や団体利用時を除いて、会議室を学習室・昼食スペースとして皆さんに開放しています。

▼学習室 大会議室 9時〜閉館10分前
 ▼昼食スペース 11時〜15時

不定期読書会 「おしゃべりライブラリー」

▼テーマ 「火定」(澤田瞳子/著)
 ▼とき 6月23日(水) 10時〜11時30分
 ▼ところ 図書館本館2階和室
 ▼定員 5人(先着順)
 ▼申込 5月11日(火)〜、電話・カウンターにて受付

郷土資料館情報

通称「逆さ髑髏」について

大磯町の丘陵部には500基を超える横穴墓があります。これらは、6世紀後半から7世紀末にかけて、大磯に暮らした古代人達のお墓です。お墓ですから本来入口は、石や木で塞がれ外部からは見えないようになっていたはずですが、地震や台風など自然災害で口が空き内部が明らかになることがあります。

大正5年(1916年)12月6日の横浜貿易新聞には、平塚市万田の記事ですが、「一個の穴には木炭の中に髑髏を埋没しその周囲に鉄刀、鉄の鍬等あり」と内部の様子が生々しく書かれています。

ここに紹介する「逆さ髑髏」とは、石切場横穴墓群のことを指します。かつて地元では通称として「逆さ髑髏」とか「髑髏岩」と呼ばれていたそうです。確かに写真を見ても見ると、ヒトの顔のように見えます。髑髏(ドクロ)とは言うまでもなく、白骨化したヒトの頭蓋骨を指します。されこうべ、しゃれこうべとも呼ばれますが、髑髏の方が一段と強い恐怖を抱くイメージがあります。

さて、石切場という名前から、石材を切り出したことは間違いありませんが、時代や用途は全くわかって

いません。石材を切り出したことにより、横穴墓は前面を削られていますので、元の姿ではありません。手前も池のような状態です。

戦時下には、横穴墓に板を架けて通路を作り穴の中に弾薬を運び入れてきたという話もあるようですが、確認できていません。石切場も含めて情報がございましたら、郷土資料館にご連絡ください。



企画展のご案内

企画展「旧高麗寺ゆかりの神像・仏像修理―出来!高来神社神像保存処理―」を開催中です。



▲高来神社木造女神立像

▼とき 6月20日(日)まで
 ▼ところ 郷土資料館企画展示室
 ▼入館料 無料